

福岡市経済の平成期30年を振り返って

スピーカー **岡田 允氏**

都市経済社会研究所(株)代表
元(公財)福岡アジア都市研究所 特別研究員

ご参加の皆様の
心に残った点

概1人当たり100のGRPが
減っていることを。増やすため
に、取り組む必要がある
ことがどう有効なのか。難しい
思いに。

広域的な都市機能(国際的
取引の強化)
↳ 外国人留学生の活用

↓
留学生の卒業後の移動は?
* 都道府県間の転出入のような
整理は(資料は)あるのか?

一次・二次産業に
今後発展の余地は?

エイジフリーな
働き方ができ
社会の実現を!

池上彰の本のタイトル
平成30年の生きづらさ

広域的な機能

今後の国際的取引を
強化する相手国は
どこをお考えですか?

生活の質

九州内の人口移動
福岡市の
一極集中

(九州の発展にどう貢献か)
今後

今後の課題に
かみだいて提示して頂
分りやすが未です。

九州の都市の中で福岡市
の階層構造 top の位置は
今後継続するの？

仙台、札幌に比べると、
背後人口の面から見て、又
地形的に、今後とも
有利に見えるが、どうだろうか。

おおむね 100% 同感 !!

福岡は「九州の東京」「地方」を
元々の基盤」といえる。

「アジア版香港」に本当は目指
せるのか？

アジアの都市（上海、香港、ヤクル
等）に比べて、福岡の成長力
はどうだろうか。

福岡市の今後の課題（先ほどの提示）

- ・ 内情をより内情である（以下）
- ・ 外国人を海外への経済的なきとマニラ、福岡
- ・ 市民生活の質的向上を目指す
- ・ 健康産業の発展とアジア、アフリカ各国への輸出など

(Lジュメ・P.17)

経済成長よりも質的充実への
ソフトチェンジとするならば、
これまでの経済指標による三大都市
圏との比較ではなく、新たな指標、
開発というよりもむしろ、気が致します。

福岡は九州の中で最大の効果を有することは
人口減少していく社会において、重要な意味があると思う。
他市・他県との広域連合のような仕組み・取組が
必要では？

三大都市圏の名古屋と比べても、ライフライン、情報、
サービスなどの業種が強いというのが、印象に残りました。

「市民生活の質的充実」

一方で新たな整備費
負担や費用がかかる。

福岡市の都市環境 特に
自然環境との調和に
先をたどるとお困りですね。

これは、技術力において世界のト
ップを走っていた日本が、次世
代の技術（AI、5G等）におい
て、二歩も遅れてきたの甘
何故か。もはや手遅れに近いの
では。